

人と自然と文化にやさしい地域づくり

# 山口県教育

*Education of the Yamaguchi prefecture*

人間性豊かに生きる—「人間性」を求める—

9

令和4年 No.1327



第74回山口県学校美術展 推奨作品

「五重のとうはでっかいな」

山口市立大海小学校 3年（受賞時） 義居 満人

一般財団法人 山口県教育会

〒753-0072 山口市大手町2-18 TEL 083-922-0383 FAX 083-922-5768

URL <http://www.ykyoikuk.or.jp> E-mail [ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp](mailto:ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp)

明治36年4月第1号 毎月1日発行 発行人 会長：倉増誠彦／編集長：西岡 尚



## ■令和の教育を創造する

### ～山陽小野田市～

山陽小野田市教育委員会

教育長 長谷川 裕

## ■地域防災に貢献

山口県立下関工科高等学校

教諭 木原 秀人

非常勤講師 岡野 大祐

(東海大学名誉教授／工学博士)

山口県立下関工科高等学校

電気工学科 3年 泉 涼平

山口県立下関工科高等学校

電気工学科 3年 福田 雄飛

## ■新しい職務

### 【小中教諭】

美祢市立秋芳桂花小学校

教諭 田邑優美子

岩国市立岩国中学校

教諭 植村 拓海

### 【養護教諭・高教諭】

長門市立神田小学校 養護教諭 長岡 和沙

山口県立宇部中央高等学校

教諭 竹重 龍一

## ■わたしの潤い

周南徳山支部

菊野 良

萩支部

武波英次郎

あなたの  
アクションは

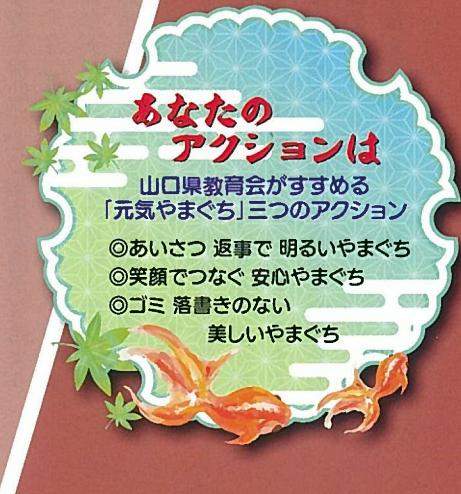
山口県教育会がすすめる  
「元気やまぐち」三つのアクション

◎あいさつ 返事で 明るいやまぐち

◎笑顔でつなぐ 安心やまぐち

◎ゴミ 落書きのない

美しいやまぐち



# 令和の教育を創造する ~山陽小野田市~

## 元気と笑顔あふれる学校の協創



令和4年度 山陽小野田市学校教育基本方針  
元気と笑顔あふれる学校の協創

【目標内容】  
○ 生活改善・学習向上事業  
夏○ キャリア教育事業  
夏● スキル・サエント事業  
夏● 背景知識・教科知識・新規公募事業  
○ ドラマ劇演習事業  
○ 心のための事業事業  
○ 小・中・高校生選抜事業

【心に響きうる学びづくりの推進】  
○ 少年安全サポート配達事業  
○ いじめ防止対策事業  
○ 不良児童対策事業  
○ いじめ・不登校に対する支援事業

【地域とつながる学びの実現】  
○ 学校・地域連携カリキュラムによる学社連携  
○ 道徳教育・人権教育・キャリア教育の充実  
○ 特色ある小中高貢献創造  
○ 研修活動の充実  
【読書活動の充実】  
○ 市立図書館と連携した読書活動の充実

【市いじめ防止基本方針の徹底】  
一人ひとりを大切にし、共に生きる教育  
◎市特別支援教育推進計画

【吉澤市長】  
Sanyo-nododa

学ぶ意欲と確かな学力の育成  
思いやりに満ちた豊かな心の育成  
未来を生き抜く健やかな体の育成

○「主体的・対話的で深い学び」の創造  
【教材の本質に迫る授業づくり】  
○間に応じた、きめ細かな指導の推進  
【ICT機器の活用・児童生徒の特性やニーズに応じた指導】  
○学習規律・学習習慣の確立  
【モジュール学習による集中力の育成及び県作成資料等の活用】

○地域力・学校力・家庭力向上プロジェクトの推進  
○協約連携協定とした山口東京理科大学との連携・理科教育の充実  
○「つながる学び」を生かしたキャリア教育の推進  
○学習習慣の形成  
ふるさとつながる子どもの育成

【家庭教育習慣の確立】  
【家庭と連携した生活習慣の改善】  
○体力向上に向けた取組の工夫・充実  
○栄養学及び段別の育成  
○食育・学校保健の充実  
【見まとい実習の充実】  
【学校運営委員会の活性化】  
○幼児・外連携事業

市立図書館と連携した読書活動の推進

学社連携による人が育つ人が輝く人がつながるCSの創造

本市では、第二次総合計画の中で「活力と笑顔あふれるまちスマイルシティ山陽小野田」を掲げています。これを受けて本市の学校教育基本目標は「元気と笑顔あふれる学校の協創」としています。そこには、「学

校では、朝の改善していくまなびす。また、学



校は児童生徒の笑顔を育む場であり、教師は児童生徒に元気を与える存在であつてほしい。そんな学校をみんなでめざしたい」という思いが込められています。私は毎年、年度初めの校長会で「山陽小野田市の強みを生かした学校運営に期待する」というお話をいたします。本市の強みを生かした取組を六つの柱として、特色ある学校教育を推進しています。以下、その取組の一端を紹介させていただきます。

### 1 一人一台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～モジュール学習

本市には、工学部と薬学部のある市立の大学があり



山陽小野田市教育委員会  
教育長 長谷川 裕

### 2 地域力・学校力・家庭力向上プロジェクトの推進 ～学校・地域協働活動への参画

モジュール学習として、「読み・書き・計算」等の徹底反復を行い、脳の活性化・集中力の育成と基礎学力の定着をめざしています。一人一台端末の導入後も、これまでの取組にA-Iドリル等のタブレット端末を活用した学習を加え、より充実した活動となるよう工夫しています。

### 3 連携・理数教育の充実 包括的連携協定を核とした山口東京理科大学との



といつた日常的な授業補助などの学校支援から始まりました。近年では、逆に地域のウォーキング大会において、中学生による子どもや高齢者の見守り活動、地域イベントで司会等を務めるなど児童生徒の地域貢献活動も多く見受けられるようになりました。児童生徒が学校・地域協働活動に参画し、地域住民との海岸清掃や、地域行事のイベントチラシの作成など子どもたちの発案によって行われる活動も増えてきています。



ます。令和2年には、市、市教育委員会、市内高校、大学が緊密な協力関係を築いていけるよう、「学ぶ喜び、知る喜び」をテーマに包括的連携協定を締結しました。その取組の一つとして、大学による小・中学校への出前授業「ほんものの科学体験講座」「薬の正しい飲み方教室」等の魅力ある講座が実施されています。また、秋には、大学の市民開放デーの一環として、「小・中学生科学作品展」が開催されたり、大学や市内高校による科学体験コーナーも開設されたりします。さらには、高校との連携の一つとして、「プログラミング教育出前実習」を予定するなど、理数教育に対する興味関心を高める取組に力を入れています。

#### 4 「つながる学び」を生かしたキャリア教育の推進

##### ～地域人材を活用したキャリア教育

本市では、競技かるたの永世クイーンを二名も輩出していることから、かるたを通じた小学生・中学生・高校生の交流を行っています。高校生が袴を身に付け、本番ながらに競技かるたを披露します。こうした高校生の姿が、小・中学生には憧れにもなっています。また、キャリア教育推進事業では、本市出身または本市で活躍されている方を講師として招聘し、講演やワークショップを開催しています。こうした取組を通して、地域を愛し、地域を誇りに思う児童生徒を育成しています。

び、「ほんものの科学体験」と題した発表など、「ふるさとを愛する心」「地域の担い手としての意識の高揚」「地域の活性化」へつながる取組を各学校において実践しています。



#### 5 ふるさとつながる子どもの育成～児童生徒の学校運営協議会等への積極的な参画

児童生徒が学校運営協議会等へ積極的に参画することを通じて、ふるさとに誇りと愛着をもち、地域に貢献する児童生徒の育成をめざしています。



#### 6 市立図書館と連携した読書活動の推進～生涯にわたり読書活動をめざして

読書活動を推進するために、市内全小・中学校に学校司書を配置しています。学校司書によるブックトークや読み聞かせ、読書コンクールや季節に応じた図書の紹介、図書室掲示などにより、学校での読書活動が充実し、児童生徒に貸し出す本の冊数が増えています。また、新たな支援として各学校にある図書だけでなく、市内各校そして市立図書館をオンラインで結んだり、図書カードを一元化したりする取組を進めています。学校と生涯にわたる読書活動の拠点となる市立図書館が連携することにより、それらの機能や役割を踏まえながら、全市的な視点から、児童生徒の読書活動の読書活動の推進及び生涯にわたる読書活動を支えていくよう取り組んでいます。



と、やりたいこと、やらなければならないこと」をテーマとした話し合い、「ふるさとを愛し、心豊かで学び続ける生徒の育成」をめざしたワークショップ型協議、また生徒会による「住みたい田舎ナンバーワンをめざして」と題した発表など、「ふるさとを愛する心」「地域の担い手としての意識の高揚」「地域の活性化」へつながる取組を各学校において実践しています。

## 雷観測システムによる雷雲情報の蓄積と地域共有



山口県立下関工科高等学校

教諭 木原秀人（写真上）  
非常勤講師 岡野大祐（写真下）  
(東海大学名誉教授／工学博士)

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第6次報告書に含まれる「 $1\cdot5^{\circ}\text{C}$ 特別報告書（2018年10月8日公表）」によると、2017年は工業化以前の水準よりも約 $1\cdot0^{\circ}\text{C}$ の地球温暖化が推定されている。さらに現在の進行速度で増加し続けると、2030年から2052年で平均上昇気温が $1\cdot5^{\circ}\text{C}$ に達する可能性が高い。このように地球温暖化加速傾向が現実として世界中で認識されているなか、日本国内では積乱雲急成長に伴う局所的で激しい落雷や豪雨、竜巻（以下、極端気象という。）による甚大被害が近年相次いで発生している。

積乱雲成長と高い相関性を有する発雷事象は気温上昇と共に増加し、平均気温 $1^{\circ}\text{C}$ の上昇で10倍以上の割合で1日当たりの落雷頻度が高まることが、世界各地の定点観測研究から実証されている（Williams, Science 1992）。国内では、積乱雲成長過程で発生する大気電磁界信号を事前検出することで、発雷のみならず極端気象の予測可能性が多く研究機関（電気通信大学、大阪大学、気象研究所、他）から報告されている。気象庁は「雷ナウキヤスト」システムで全

国30カ所から得られたLF帯域の大気電磁界信号と気象衛星による雲データとの統計処理法により、現在時刻の発雷情報を下関地区に提供している。この場合、本校近辺の受信局は、本校所在地から東に60キロ離れた山口県宇部市（宇部空港）、並びに西に140キロ離れた長崎県壱岐市に設置されているが、急激に発達した積乱雲の局所的な地域の落雷や集中豪雨（雷嵐）の情報を統合的に可視化し、かつ事前に得ることは難しい。さらに本校で様々な大気観測信号（光、電磁界、音、画像等）で捕捉した発雷情報は、雷キヤスト情報と一致しない事例が多かった。

本観測研究は局所地域（10キロ範囲）の発雷情報を対象とし、専用システム（図1）で定点観測を行っている。2018年、岡野大祐（当時、東海大学教授）先生の主導的開発による共通電位型キャパシタアンテナ装置（S1又はS3・特許第63364584号、2018）で取得した高時間分解能のLF帶大気電界信号と、汎用の回転電極型直流電界装置（EFM）信号、及び光や音、気象の情報との統合解析により、発雷事象の同定精度を高め、かつ雷過程の発生予測や分類等に関する実験検証を目的とする。

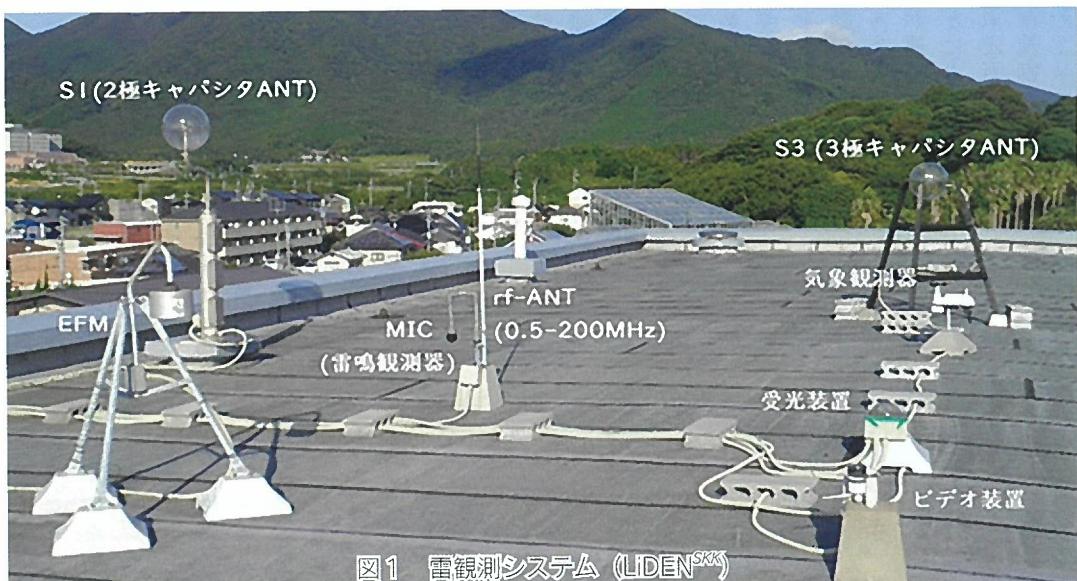


図1 雷観測システム (LIDEN SKS)

2017年、電気研究部の活動として開始、最新の屋上設置の雷観測装置を左図に示す。グローバルな報発信や知的財産の出願、国際学生科学技術フェア（ISEF）出場等を目標とし、行動する力と総合的な実力の育成による未来を創造する人材創出を目指している。

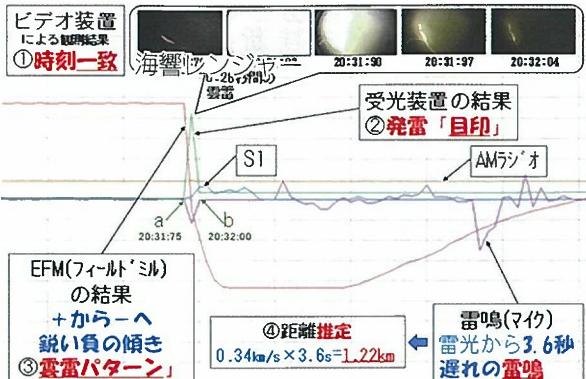


図3 観測波形例

2021年、雷観測システムの改善整備のため、受光装置を製作して実習棟屋上に設置し、4階の雷観測室への配線工事を行いました。その雷観測室の様子を図2に示しています。

図2は、2021年11月11日(木)の雲雷観測例を表し、発雷目印として受光装置による雷光パルスを用



山口県立下関工科高等学校  
電気工学科 3年 泉 涼平



図2 雷観測室

いたり、観測結果の整理作業を大幅に軽減できました。また日本気象学会ジュニアセッションの発表では、専門家等からご意見を頂き、大気電気や気象の視点での考察が重要であることを感じました。

象学会ジュニアセッションは観測室での部員へのタブレット設定の様子です。雷雲が接近すると図Aの観測画面の緑色の丸が黄色、そして赤色へと変化し「Lightning」等のメッセージを発します。顧問の木原先生から知らせが入ると、観測画面を自宅で共有し、落雷や雲雷があった時は、そのコメントや写真を返信し、対話型の雷観測を行い、実験検証に活かしています。

学校で配付されたタブレットを生かして、試行錯誤しながら雷観測画面共有を実現し、部員で喜びを分かち合いました。現在、発雷がない時の楽しみとして絶景の夕陽の共有とライブ配信に挑戦しています。



図4 雷観測画面



山口県立下関工科高等学校  
電気工学科 3年 福田 雄飛

## タブレットを用いた対話型雷観測の連携

### 雷雲の監視と情報発信へ

本校の所在地からは西海に沈む夕陽の絶景が望めます。これを蓋井島と六連島に試作中の小型雷観測装置を配置し、本校との3点で雷雲の侵入を監視する予定です。また、雷観測装置による観測結果の解析や予測については、岡野先生のご指導により部員で分担して作業を行います。

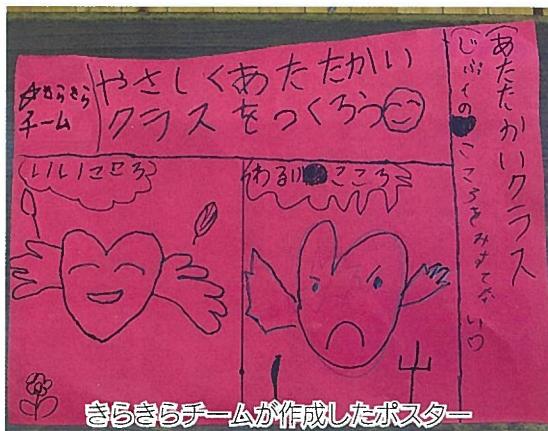


図6

あります。

## 雷光信号活用による発雷情報整理の改善

## 新しい職務【小中教諭】



新規採用教員として、美祢市立秋芳桂花小学校で働き始め、5ヶ月が経ちました。子どもたちと出会うまで、「本当に私に学級担任が務まるのか」等、不安な思いでいっぱいでした。しかし、4月8日、そんな私の思いを吹き飛ばすように、笑顔で明るく大きな声で挨拶をしてくれる子どもたち、全校児童62名と出会いました。恥ずかしがることなく一人ひとりがしっかりと挨拶をする姿に、「こんなに心がきれいな子どもたちとこれから過ごすことができるんだ」と、心打たれ、感動して涙が出そうになつた感覚を今まで

子どもたちと出会うまで、「本当に私に学級担任が務まるのか」等、不安な思いでいっぱいでした。しかし、4月8日、そんな私の思いを吹き飛ばすように、笑顔で明るく大きな声で挨拶をしてくれる子どもたち、全校児童62名と出会いました。恥ずかしがることなく一人ひとりがしっかりと挨拶をする姿に、「こんなに心がきれいな子どもたちとこれから過ごすことができるんだ」と、心打たれ、感動して涙が出そうになつた感覚を今まで

も忘れることができません。  
私が受けもつてているのは、1学級12名の2年生です。このクラスの子どもたちは、誰かが困つていれば、すぐに助けることができる、そして、給食は毎日必ず完食する、とっても優しく元気な子どもたちです。このような子どもたちの存在が、仕事への原動力となつております。

そんな子どもたちの成長に驚かされた出来事がありました。学活の時間、「秋芳桂花小学校からいじめをなくすには」というテーマで話し合いました。子どもたちの話合いがとても活発だったので感心していました。さらに、授業後、「昼休みも考えて良いですか」と言つてきた子がいました。そして、「きらきらチーム」という、いじめをなくすための係ができました。私が何も言わなくても、子どもたちが自主的に行動できるようになつた姿にとても成長を感じました。

今私はまだ、先生方や子どもたちに支えられてばかりですが、周囲の先生方・子どもたち・保護者の方、全ての人へ感謝し、日々精進したいと思います。そして、3月には、子どもたちに「先生が担任でよかったです」と思つてもらえるよう、子どもたちと共に成長していきたいと思います。

## 大好きな子どもたちと共に

美祢市立秋芳桂花小学校  
教諭 田邑 優美子



## 明るく！楽しく！元気よく！

岩国市立岩国中学校  
教諭 植村 拓海



新規採用の理科教員として岩国市立岩国中学校に着任して5ヶ月が経ちました。歴史と伝統がある本校は、小中一貫教育や地域連携教育に力を入れており、学校と地域が連携して、たくさんの行事や活動を行つてゐる魅力あふれる学校です。

2年生の担任を任せ、この5ヶ月間は生徒と共に本当に楽しく充実した日々を過ごさせていただきましたが、困つたことや大変なことが多かつたのも事実です。特に、授業づくりにおいては、理科が苦手な生徒が少しでも楽しく思える授業を提供しようと、まさに悪戦苦闘しました。同教科の先生方だけでなく、他教科の先生方にもたくさんの指導と助言をいただきました。その中で、日常生活と関連づけた課題の設定や生徒同士の学び合い活動を大切にすることなど、生徒が主体的に考え、自ら学ぶ授業をめざすことにその活路を見いだし、日々試行錯誤を繰り返しています。「もうこうすればよかつた」と反省することしきりですが、生徒から「先生の授業が楽しい」「最近理科が少し好きになつた」という声を聞くと、とてもやりがいを感じました。

ある日、校長先生に「教員の仕事をは子どもの心に火をともすこと」と教

えていただきました。今私は、学習指導も生徒指導もまだですが、生徒のやる気を引き出す取組や声かけの大切さを肝に銘じ、生徒にとって何が大切なことを常に考えながら、誠心誠意取り組んでいきたいと考えています。そして、若さを生かし、常に全力で取り組むことで知識と経験を重ね、教員として人として、さらに大きくなる成長していきたいです。

「明るく！楽しく！元気よく！」  
これからも、生徒のそばで生徒と共に頑張ります！



## 理想の養護教諭への第一歩

長門市立神田小学校  
養護教諭 長岡 和沙

今年度、新規採用の養護教諭として長門市立神田小学校に着任しました。校舎は、海と山に囲まれたとても自然豊かなところにあります。本校は全校児童数10名と小規模校ですが、児童の明るく元気な声が響き渡ります。

着任式で児童の姿を初めて目にした時、「私は養護教諭になつたんだ」と実感がわき、憧れていた学校現場での仕事に期待が膨らみました。同時に不安な気持ちもありました。初めてのことばかりで分からぬことも多い中でしたが、前任の養護教諭の先生や、指導者の先生、近隣の先生方、そして神田小学校で一緒に働く先生方がとても親身になつて声をかけてくださいり、徐々に不安も和らぎました。このような恵まれた環境の中で仕事に励むことができることに感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、信頼される養護教諭を目指しています。悩みがある、相談したいことがあると思ったときに、ふと私が浮かぶような存在になりたいと思っています。そのため、今は児童と積極的に関わることを意識しています。保健室での関わりだけでなく、休み時間と一緒に遊んだり、授業に出向いたりして、できるだけ児童と過ごす

時間を増やし、何気ない会話を多く行って、児童との関係性を築くようにしています。また、児童について気付いたことがあれば、先生方に伝えるように心がけています。本校では教職員同士での情報共有がとても盛んに行われています。休み時間等に関わっている様子とはまた違った児童の一面をその中で知ることも多くあります。

これからも、児童の様子を把握し、関係づくりに努め、その中で専門性を生かした情報提供をすることができるようにたくさん吸収しながら励んでいきたいです。



熱中症に関する保健指導



## 新たなチャレンジ

山口県立宇部中央高等学校  
教諭 竹重 龍一

この春、宇部中央高等学校に赴任しました。分からぬことが多い不安もありましたが、周りの先生方のサポートや生徒たちの笑顔に助けられ、充実した日々を過ごしています。

教育現場に立ち、実際に生徒と関わる中で「教育とは何か」と自問することが多くなりました。どのような生徒になってほしいのか。どのように力を身に付けてほしいのか。考えれば考えるほど、問い合わせることの難しさに悩されます。

社会は発展を続け、多様性についての議論も深まりつつあります。一昔前のような「こう生きなければならない」などのバイアスは薄れ、個人が自由に人生を歩める社会へと変容してきます。同時に、複雑化し、予測困難な社会を子どもたちは生き抜いていかなければならぬのです。私自身、教師として求められていることは、「地図なき荒野」の歩き方を子どもたちに身に付けさせることなのではないかと考えます。

現在、教育活動の中で常に意識していることがあります。それは、どれだけ生徒自身に考えさせるかということです。「チームや自己」の課題と解決方法は?」「がん治療における日本の課題は?」常に問いかけ、思考させる

ことで、困難を乗り越える生徒になつてほしいのです。このような活動の積み重ねが、生徒の将来に少しでも役立てば嬉しく思います。

「指導者は選手の未来に触れている」これは、あるサッカー指導者の言葉です。私との関わりが生徒の将来を大きく左右するものではないかもしれません。しかし、確実に生徒の未来に触れているのです。教育とは何か。この抽象的な問いに答えようとするところの抽像的な問いに答えようとするところが、私の自己研鑽の原動力になつてきます。様々なことにチャレンジし、生徒の成長のために精進していく所存です。



タブレットの作戦ボードで話し合う様子

# わたしの潤い



## 微力ながら、もう少し

周南徳山支部  
菊野 良

## 今も現役で頑張っています

萩支部  
武波 英次郎

して他校と大きく違う「地元企業」など鼓南小中の子どもたちのために力を貸してください人がたくさんいる。子どもたちにとつては、応援してくれる人がいるということが大きな力となっている。

また、小中の協力体制も大きい。中学校教員が教科担当として小学校の授業をしたり、昼休みには小中学生が入り交じって楽しくふれあい活動をしたり、教職員も日常的に往来したりしている。

いつか鼓南の子どもたちが大海に向か泳ぎ出すその日のために、もう少しの間微力ながら、学校教育に携わっていきたい。

「元気に大きく育つてね」。子どもたちが傾けたバケツの中からトラフグの稚魚が勢いよく躍り出る。押し寄せる波にまつすぐに挑む稚魚もいれば、波打ち際に押し戻される稚魚もいる。みんながみんな勢いよく前進できるわけではないのは人間も同じ。放流される稚魚の姿に、いつかもたちを重ねてしまうのは、小規模校教員の性だろうか。

鼓南小中のキーワードは「連携」である。過疎化の波に飲まれている地域だが、学校に寄せる思いには熱いものがある。地域には「鼓南をよくする会」「なんでもやろう会」そ



鼓南地区ふれあい運動会の応援合戦の様子

定年退職後、再任用教員として、萩市立萩西中学校で2年間担任をしている。特に本年度は、人生の節目に当たる中学3年生の担任として、日々励んでいる。

萩西中学校は、私が新任教員を皮切りに9年間務めた思い出深い学校である。まさかこの学校で再スタートが切れるとは思わなかつた。運命的な出会いに感動し、そして感謝している。23年ぶりに戻り、当時担任していた生徒が親世代になり、私が受け持ちをしているクラスの生徒の保護者にもなつていて。これも正に出会いであり、せつかくの出会いを大切にし、充実した日々を送つてている。

退職した当初は、「これまでお世話になつた様々な方々への恩返しの気持ちで一生懸命頑張る」という気持を大切にして、若手教員の人材育成に少しでも関わればという気持ちであった。しかし、若手教員や中堅教員の、今の教育現場に即した熱意あふれる取組を目の当たりにし、私も生徒たちにしっかりと向き合い、様々な教育活動に取り組みたいという思いを強くした。

萩西中学校に赴任して以来、私が毎日欠かさず取り組んでいることは、毎朝の校舎周辺の清掃活動である。



朝の校舎周辺清掃の様子

萩西中学校は「世界遺産の中にある学校」である。私は、萩西中学校の教員であるとともに、学校所在地の「堀内町内会」の役員も務めており、学校・地域の連携・協働のお手伝いのつもりで取り組んでいる。また、生徒会の呼びかけで、朝のボランティア清掃に多くの中学生が自主的に参加しており、一緒に活動したり、小学校への声かけをしたり、朝からとても元気をもらつていて。

今後も現役で中学生と関わり、中学生と一緒に成長していきたい。